

会 議 録

会 議 名	令和 6 年度第 3 回小金井市芸術文化振興計画推進委員会		
事 務 局	市民部 コミュニティ文化課		
開 催 日 時	令和 7 年 1 月 8 日（水） 1 8 時 0 0 分～2 0 時 0 0 分		
開 催 場 所	小金井市役所第二庁舎 8 階 8 0 1 会議室		
出 席 委 員	田中真実 委員長 中村美帆 副委員長 國分ひろみ 委員 小林 勉 委員 田栗 浩 委員 中原和樹 委員 西村徳行 委員 原田隆司 委員 福沢政雄 委員		
欠 席 委 員	なし		
事 務 局 員	1 小金井市 コミュニティ文化課長 中川法子 コミュニティ文化課係長 津端友佳理 コミュニティ文化課主任 武田麗子 2 事業実施者 特定非営利活動法人アートフル・アクション		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	0 人
会 議 次 第	1 計画の評価について 2 フォーラムについて 3 その他		
提 出 資 料	別紙のとおり		
1 計画の評価について（事務局より(1)(2)説明） (1) 計画の構造 前期 5 年（令和 3～7 年度）、後期 5 年（令和 8～12 年度）の 10 年計画 本委員会の役割の 1 つとして「計画の評価及び見直し」を行う。 (2) 評価の考え方 計画は「協働・教育・社会包摂」の 3 視点を重視。 定量指標（来場者数等）ではなく、定性的な成果を捉える評価を目指す。 「トライアンドエラー」を重視し、次期施策に生かす評価の在り方を模索する。 後期評価は 9～10 年目に次期計画策定と並行して行う予定。 (3) 委員からの主な意見 ・評価は難しいが、最低限として、事実の記録（実施内容・参加者数・アンケート等）は必要。予算との関係（コストパフォーマンス）も基礎情報として把握すべき。 ・評価軸の策定は計画作成と同等の難易度がある。委員会 3 回だけでは不十分。 ・評価の対象を絞り、範囲を明確にする必要がある。			

- ・本市は市民活動が盛んで、活動できる場所が少ない。現在活動の場がどうなっているのかについて、前期の評価に入れてはどうか。
- ・市内の芸術文化活動をリサーチ・把握することが重要である。

2 フォーラムについて

開催日：令和7年2月8日（土）

場 所：小金井 宮地楽器ホール

テーマ：「まちのアートスポットの新しい遊び方」

市内のアートスポットを発見する、どのように活用できるのか、どんな楽しいことができるのかを探っていく。

同時に市内外の様々な市民活動の事例をパネルにして展示を行う予定。

委員に活動や場の事例紹介等についてヒアリングするため、別途調整する。

3 その他

特段なし